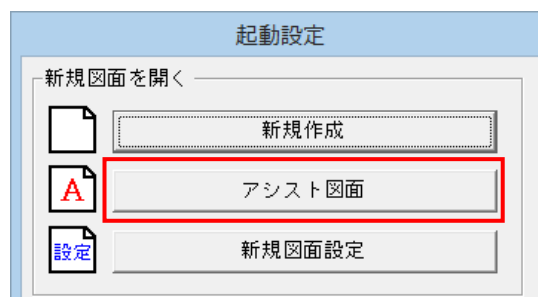


CAD 製図基準アシスト操作方法

「CAD 製図基準アシスト」は CAD 製図基準(案)に従った図面を新規に描く際に用いるオプションソフトです。CAD 製図基準(案)に則ったレイヤ名、線種、線色、線幅がすでに設定されている雛形図面(アシスト図面)を読み込み、操作を行います。

●アシスト図面を開きます

[ツール]-[起動ダイアログ]で「起動設定」画面を表示します。「アシスト図面」ボタンを押し、アシスト図面を読み込みます。



●アシスト図面を選択します

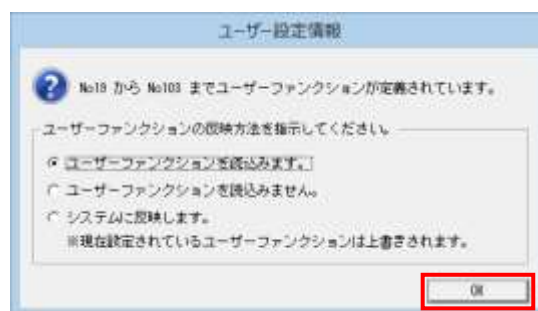
「BV Finder」が起動します。工事に該当するアシスト図面を選択し、[開く]をクリックします。例として「LS-小構造物図面.BVF」を選択します。



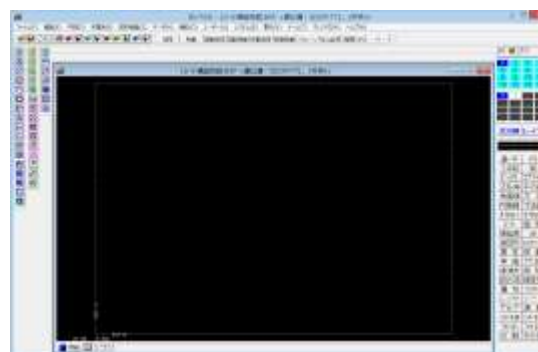
●メッセージが表示されます

アシスト図面を読み込むと右図のメッセージが表示されます。ユーザーファンクション設定を反映させるか選択します。

「ユーザーファンクションを読み込みます。」を選択して、[OK]を押します。



●アシスト図面が表示されます



● 図枠を表示させます

「ファイル」-「表題欄作成」をクリックします。「表題欄作成」ダイアログが表示されます。

「図面枠」タブの「枠線」欄の「有り」にチェックを入れます。

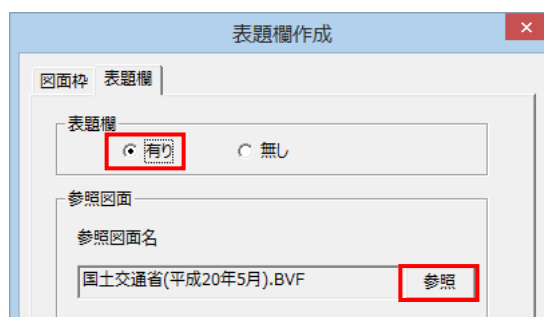


● 表題欄を表示させます

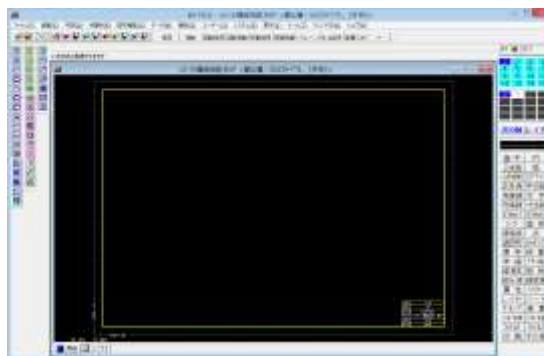
「表題欄」欄の「有り」にチェックを入れます。

「参照」ボタンを押して「表題欄テンプレート」を読み込みます。CAD製図基準アシストの CD-ROM 内に「表題欄 Sample」フォルダがあります。その中にある「港湾局(A1).BVF」、"国土交通省(平成 15 年 7 月).BVF"等がテンプレートです。

今回は"国土交通省(平成 20 年 5 月).BVF"を選びます。



● 図枠、表題欄が表示されます



● レイヤ構成を確認します

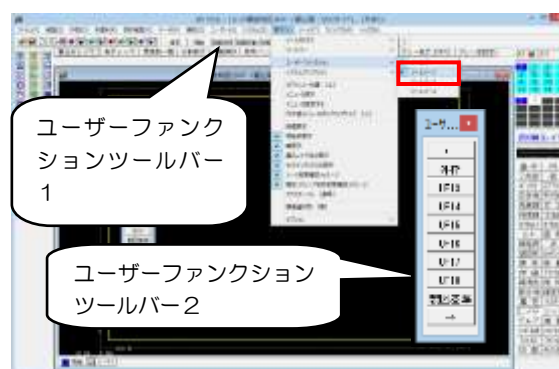
「レイヤ」-「一覧操作」でレイヤ構成を確認します。すでにレイヤ名等の情報が入力済みです。



●ユーザーファンクションバーを表示させます

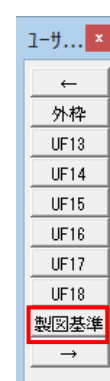
「表示」-「ユーザーファンクション」-「ツールバー2」をクリックします。
「ユーザーファンクションツールバー2」を表示させます。
ツールバーの右下をドラッグさせて左下に移動し、形を縦長に変形させてください。

「ユーザーファンクションツールバー1」をドラッグして移動し、同様に縦長に変形させてください。



●「製図基準」ボタンを押します

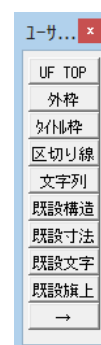
「ユーザーファンクションツールバー2」にある「製図基準」ボタンを押します。



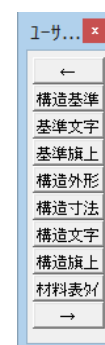
●ユーザーファンクションのボタン名が変更されます。

「ユーザーファンクションツールバー1 (以下ツールバー1)」と「ユーザーファンクションツールバー2 (以下ツールバー2)」のメニューが変わります。

ツールバー1



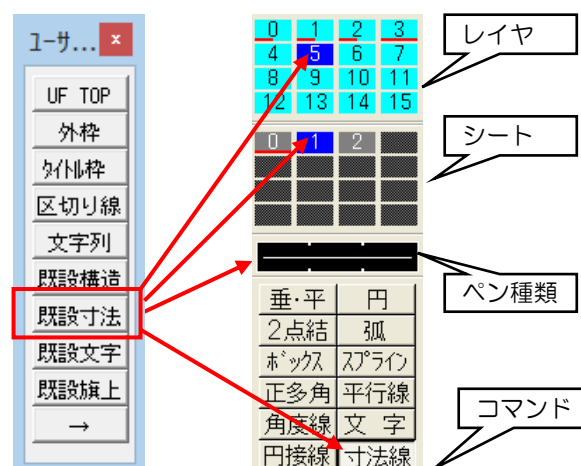
ツールバー2



●ユーザーファンクションのメニューを押します

メニューを押すことにより、レイヤ、シート、ペン種類が自動設定されます。

[**寸法]、[**旗上]、[**文字]といったユーザーファンクションメニューを選択すると、自動的に「寸法線」や「文字」といったコマンドも同時に選択されます。

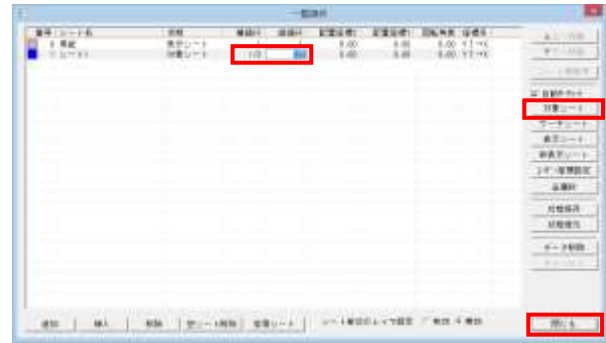


●小構造物を作図します。

[シート]—[一覧操作]をクリックします。
シート1をクリックします。
「対象シート」ボタンを押し、対象シートとします。

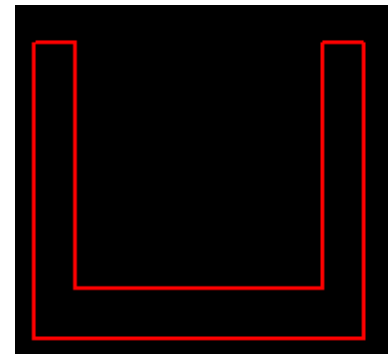
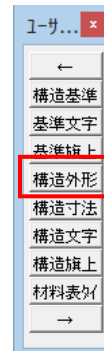
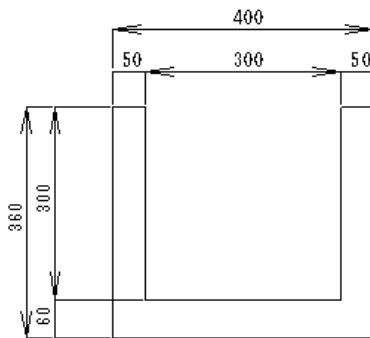
横縮尺の数字をクリックし「1/2」と入力します。
縦縮尺も同様に入力します。

「閉じる」ボタンを押します。



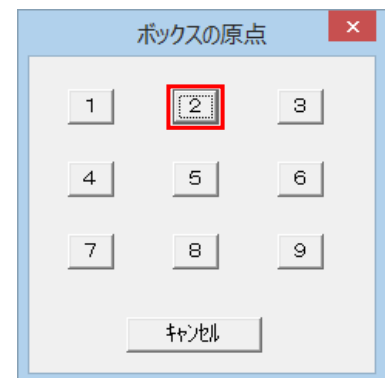
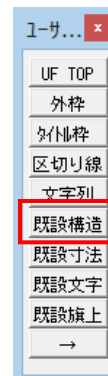
●構造外形図を描きます

「ツールバー2」—「構造外形」ボタンを押します。
下図の寸法で構造外形線を描きます。



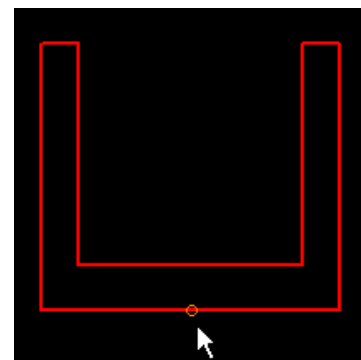
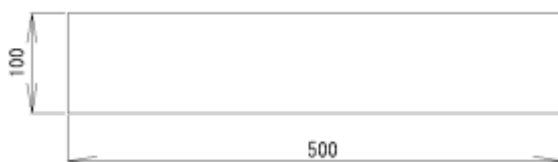
●既設構造物を描きます1

「ツールバー1」—「既設構造」ボタンを押します。
日本語メニューボックスの「ボックス」コマンドを押します。
サブメニュー欄の「10Key」を押します。
この時原点設定が必要となるので、「原点設定」ボタンを押して、原点を2番(中上)に設定します。



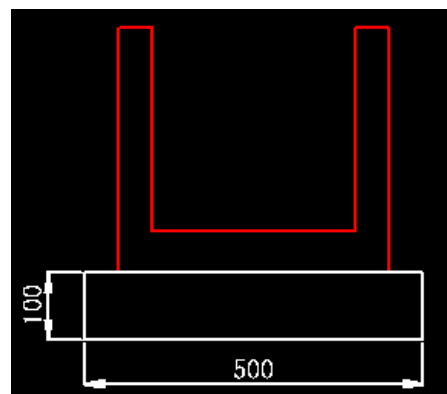
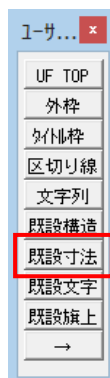
●既設構造物を描きます2

原点を左図の位置でとります (Shift+右クリック)。
下図の様に数値を入力します。



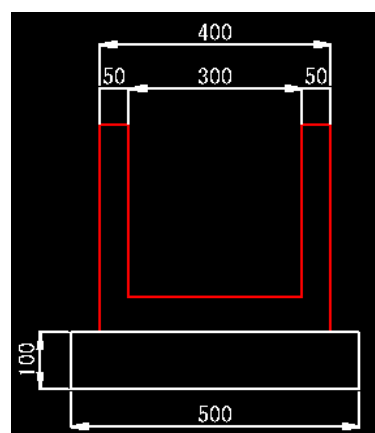
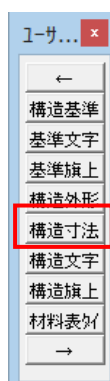
●寸法線を記入します1

「ツールバー1」の「既設寸法」ボタンを押し、既設構造物に寸法線を記入します。

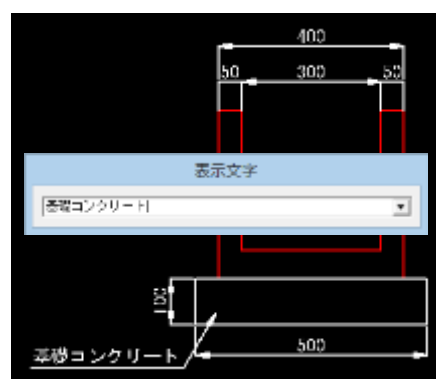
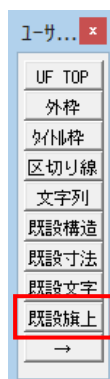


●寸法線を記入します2

「ツールバー2」の「構造寸法」ボタンを押し、構造外形図に寸法線を記入します。

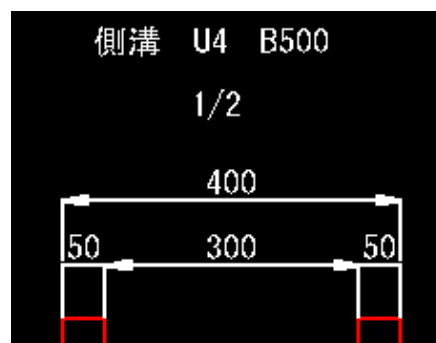
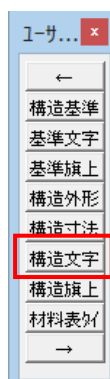


「ツールバー1」の「既設旗上」ボタンを押し、既設構造物に旗上げを記入します。
「基礎コンクリート」と入力します。



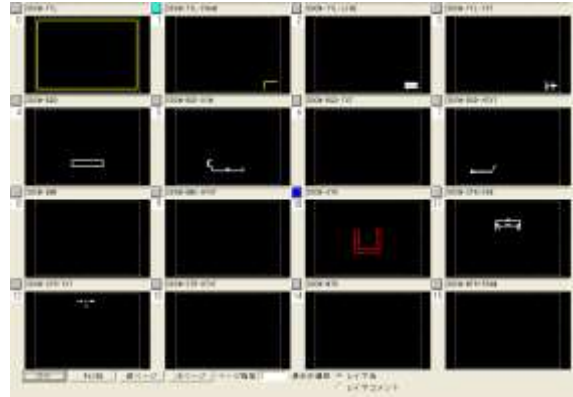
●文字を記入します

「ツールバー2」の「構造文字」ボタンを押し、右図のように 記入します。



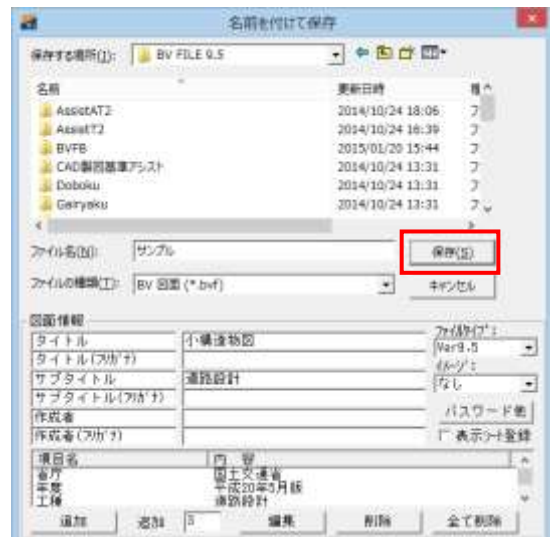
●分割表示で確認します

[レイヤ]－[分割表示]をクリックします。
レイヤ毎に描かれていることを確認します。



●終了します

[ファイル]－[名前を付けて保存]をクリックし、「ファイル名」欄に名前を付けて[保存]ボタンを押します。



電子納品時はSXFファイル形式で保存します。
[ファイル]－[外部出力]－[SXF]をクリックします。
「ファイルの種類(SFC または P21)」を選択し、保存します。

